

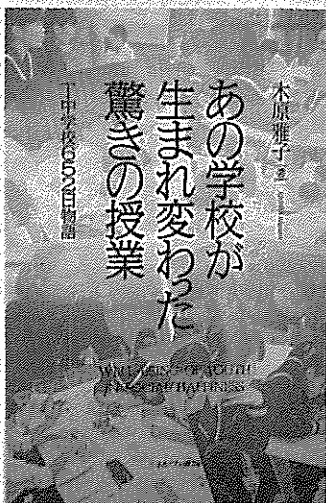
木原准教授(京大)  
のWYSH教育

## 実践効果が著書に

### 県北の中学校でも大きな成果

県北の中学校で大きな成果を挙げた「WYSH(ウィッシュ)教育」の取り組みが著書になり、ミネルヴァ書房から「あの学校が生まれ変わった驚きの授業」(T中学校65頁)白物語」の題名で出版された。

著者は、WYSH教育を提唱、実践している京都大学大学院医学研究科社会学分野准教授の木原雅子医学博士。木原さんは、いじめや不登校、学校崩壊などの問題を抱える全国各地のいわゆる「荒れた学校」の現場を回り、実績を上げている。著書の舞台となった県北の「T中学校」でも平成26年度からWYSH教育を開始。学校側の熱意もあって生徒は学習意欲や自信を持つようになった。



木原さんの著書「あの学校が生まれ変わった驚きの授業」

り、学力も向上。教員や保護者、地域にもいい変化が生まれたとして、県内の教育界から大きな注目を集めた。

木原さんは当初、エイズを中心とする性教育の一環としてWYSH教育を提唱し、学校現場を回る中で、生き方考える

人間教育という位置付けで展開。それを学校教育、教科授業に組み込んだのはT中学校が初めてだったという。

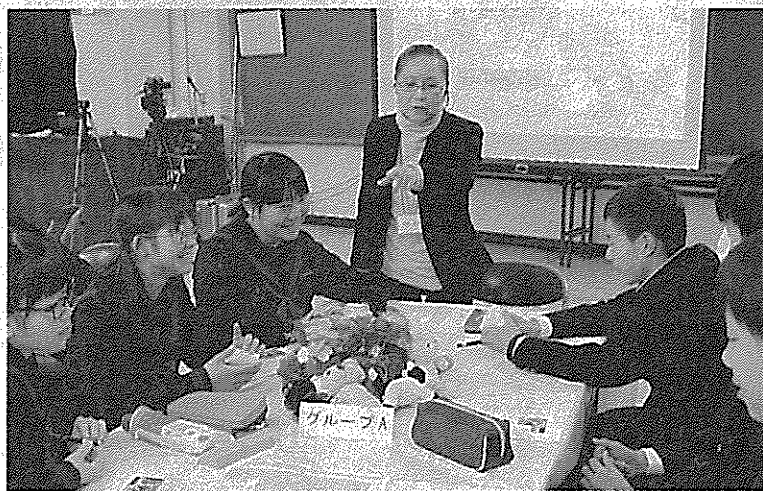
その結果、木原さん自身も「奇跡のような変化が生まれた」という同校での体験に、WYSH教育のさらなる可能性を見だし、教育のヒントとして著書出版に至った。

木原さんは「この経験の中で二つの問題解決の」  
K・Eテレ(教育チャンネル)で放映される。社会の変化とともに複雑になる子どもたちの問題と、大人はどう向き合っていけばいいのか。ある中学校を舞台に、思春期の子どもたちと向き合った半年の記録を通して考える内容という。

NHK Eテレの  
E TV特集で放映

今夜11時から

木原さんが取り組むWYSH教育の記録をまとめたドキュメンタリー「E TV特集『キミのこ」と聞かせてよ」木原雅子さんの出張授業」が、きょう午後1時からNH



WYSH教育で授業する木原さん(今年1月)